



2019年6月期 第1四半期
決算補足資料

すまいと暮らしの^{コレカラ}“未来”を創る



2018年11月14日
日本リビング保証株式会社
東証マザーズ:7320

どのような
会社か

「100年の価値を、すべての住まいに。」

当社は、住宅の保守・保証トータルソリューション企業として、
「ESG」を重視し、持続可能な社会の形成に寄与します。

業績は
どうだったか

「通期業績予想に対し 順調に進捗」

売上高 : 3.67億 (進捗率 +25.1%)
経常利益: 0.68億 (進捗率 +38.6%)

その他
トピックス

「繰越欠損金の解消」

当第1四半期にて、繰越欠損金を解消

第1四半期は各業績項目において、通期予想に対し順調な進捗

	今期 第1四半期 (2018.7~2018.9)		通期 業績予想 (2018.7~2019.6)
		通期予想に 対する進捗率	
売上高	367 百万円	25.1%	1,462 百万円
営業利益	63 百万円	45.6%	138 百万円
経常利益	68 百万円	38.6%	176 百万円
当期純利益	48 百万円	38.7%	124 百万円

各事業セグメントについても、通期予想に対してオンパースの状況

	今期 第1四半期 (2018.7~2018.9)		通期 業績予想 (2018.7~2019.6)
		通期予想に 対する進捗率	
売上高	367 百万円	25.1%	1,462 百万円
おうちの トータル メンテナンス 事業	268 百万円	24.1%	1,112 百万円
BPO事業	98 百万円	28.0%	349 百万円

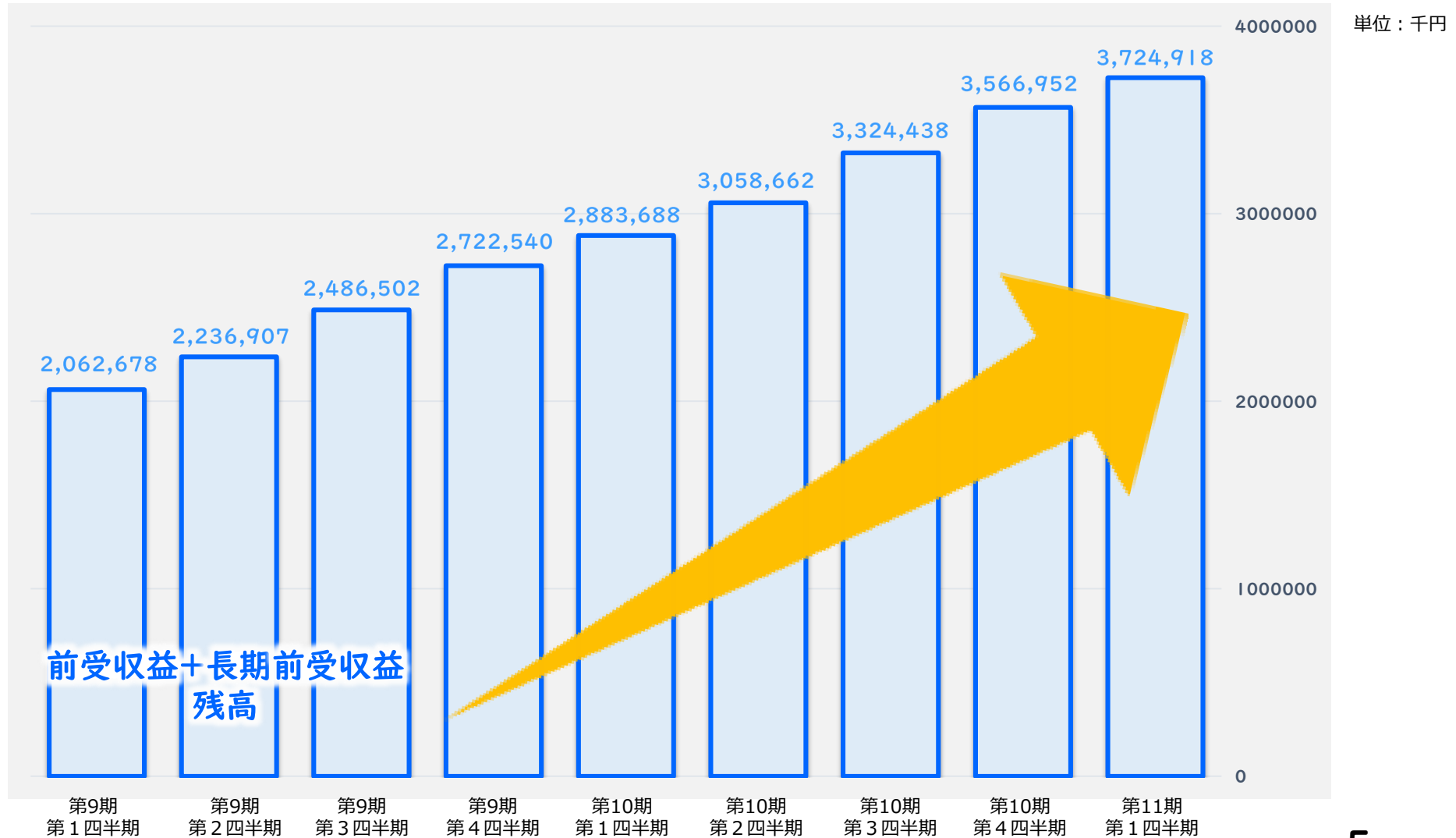
セグメント別営業損益

うちのトータルメンテナンス事業は、収益性の高い長期保証契約の獲得による収益基盤強化策が功を奏し、第1四半期は黒字達成も、今期中は成長投資を継続

	今期 第1四半期 (2018.7~2018.9)	通期予想に 対する進捗率	通期 業績予想 (2018.7~2019.6)
売上高	63 百万円	45.6%	138 百万円
うちの トータル メンテナンス 事業	14 百万円	--	▲20 百万円
BPO事業	48 百万円	30.1%	159 百万円

前受収益・長期前受収益残高の推移

長期保証契約の着実な獲得により、
「ストック収益」である前受収益および長期前受収益残高は順調に増加



第11期(2018.7~2019.6) 連結業績予想

「増収」達成予想も、営業利益については前期比マイナスとなる見通し
 売上高14.62億(前期比+1.75億)、経常利益1.76億(前期比+0.18億)

	第2四半期累計 (2018.7~2018.12)	通期 (2018.7~2019.6)	YoY	
			増減額 (百万円)	増減率
売上高	710 百万円	1,462 百万円	+175 百万円	+13.6%
営業利益	77 百万円	138 百万円	▲24 百万円	▲14.6%
経常利益	92 百万円	176 百万円	+18 百万円	+11.6%
当期純利益	64 百万円	124 百万円	+21 百万円	+20.3%

① 繰越欠損金の解消

第1四半期をもって、繰越欠損金が解消

② 株式分割の実施

【目的】 投資単位当たりの金額を引き下げることによる、流動性の向上と投資家層の拡大

【概要】 2018年12月31日^(※)を基準日にし、普通株式を1株につき3株の割合をもって分割

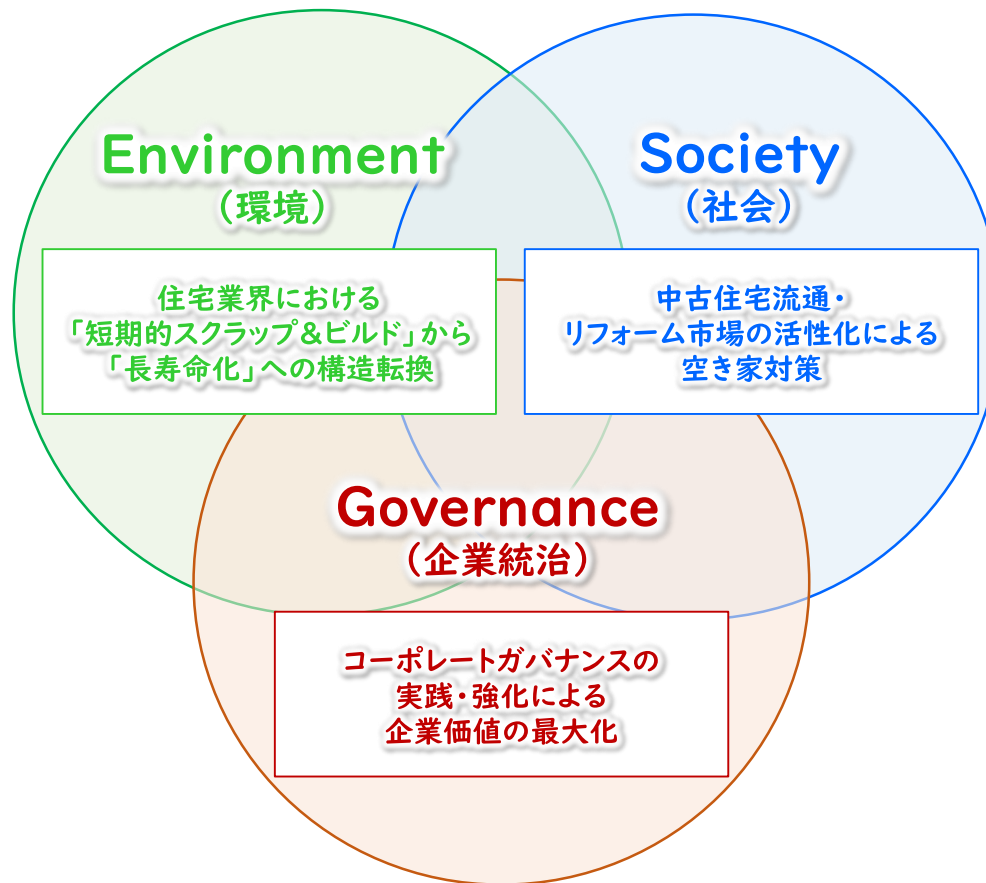
(※)ただし、当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2018年12月28日

【分割により増加する株式数】

株式分割前の発行済株式総数	1,661,700株
今回の株式分割により増加する株式数	3,323,400株
株式分割後の発行済株式総数	4,985,100株
株式分割後の発行可能株式総数	15,000,000株

「100年の価値を、すべての住まいに。」

「良いモノを、永く使う文化をこの国に根付かせたい」その思いから、住宅設備の延長保証を開発し、私たちのビジネスはスタートしました。
2019年で創業10周年。その思いをさらに昇華させ、検査点検・補修・電子マネー（ポイント）を組み合わせた独自のソリューションで、
持続可能な社会の実現の一翼を担いたい、それがわたしたちの願いです。



本発表において提供される資料ならびに情報は、将来の見通しに関する情報を含みます。

これらは、現在における入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際には、これらの記述とは異なる結果を招き得る可能性や確実性を含んでおります。

それらの可能性や不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる将来の見通しに関する情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

すまいと暮らしの^{コレカラ}“未来”を創る



2018年11月14日
日本リビング保証株式会社
東証マザーズ:7320